

二番街商店街振興組合



派遣情報

- 派遣期間: 2025年9月～2025年10月
- 派遣応援隊員: 中村 達朗(広告宣伝支援部門)
- 派遣内容: 防災講座の実施



悩み

✓ 商店街は災害時に、地域の住民などの避難や支援活動について共助の拠点となりうるが、有事の際の備えには、まずは商店街としての防災意識の向上が必要である。非常時の対策については、日常の生活の中では考える機会が少ないため、意識向上の予知があると推測される。



マッチング

💡 中小企業診断士でありながら、防災士・救急救命士の資格を有している中村達朗さんを派遣



取り組み

□ 災害に対する備えとして、地震への対応に焦点をあてて防災講座を実施。ハザードマップを活用して、該当する商店街地域で発生する可能性がある地震の規模や、被害想定などを確認しするとともに、以下の視点から地震へ対応の方法について、学びを深めた。

- ①自分の身を守ること
- ②周りの身を守ること
- ③避難やその後の生活を考えること

それぞれの項目に対する、具体的な対策や商店街として事前に準備出来ることなどを共有した。



取り組みの結果

- ・商店街全体として防災意識の向上が図られた。
講座では、地震発生時における初動対応の重要性や事前の備えについて具体的に整理した。

また、災害発生時に

- ①自分自身の身を守ること
- ②周りの身を守ること
- ③避難やその後の生活考えることについて

再確認することで、各参加者が自らの役割を自覚し、行動につなげる意識が高まったと感じる。

さらに、ハザードマップの確認や地域の避難場所の確認、事前に備えておくべき物品なども紹介することで、普段の生活の中では中々イメージしにくい災害への対応について情報提供することができた。

これらにより、個々の店舗にとどまらず、地域全体としての防災力や助け合いの意識が高まり、災害時に迅速かつ的確な対応が期待できる体制づくりの第一歩を実現した。

また、今後予定している北陸地方への視察に向けた、災害対策への意識向上についての事前学習とすることことができた。

▼ 講座の様子 ▶



商店街の声

◎組合員の防災意識を高めるきっかけとなり、商店街としても備蓄や道具の準備の検討に取組む良い機会になったと感じます。